

文構造研究会

メンバー

会長：深石葉子（文研D3）

副会長：嶋田由唯（言語研M2）

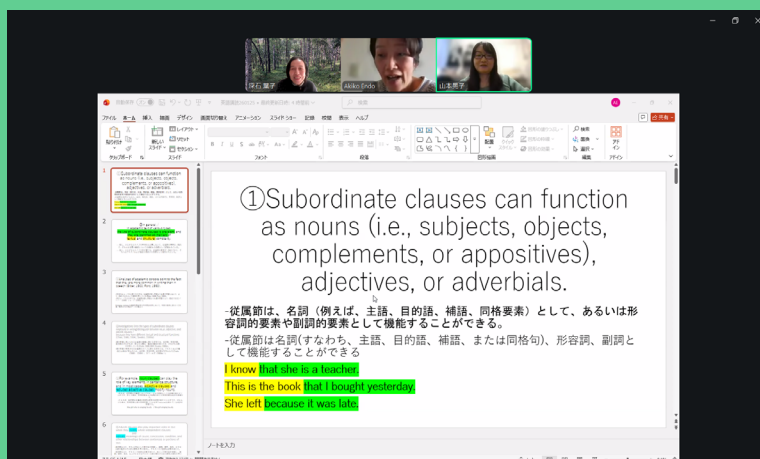
会員：山本晃子（文研D3）

FANG Yuanxin（名古屋大学院D3）

読書会の開催

「日本語の文構造」に対する知識を深めるために、長期休暇中も含めほぼ毎週読書会を実施し、メンバー間で活発な議論を行った。取り上げた書籍は、野田尚史、野田春美（2017）『日本語を分析するレッスン』（大修館書店）の一部、チョムスキー『言語学講義：言語はいかにして進化したか』（ちくま学芸文庫）、ライトバウン・スパダ（2014）『言語はどのように学ばれるか』（岩波書店）については通読を行った。学会発表前には発表リハーサルを行い、口頭発表のブラッシュアップにつながることができた。

英書講読



昨年度に引き続き。全7回で学外から英語講師を招き、英書講読の添削・解説講義を行った。

取り上げた書籍は、Mizuguchi (2024) ” Individuation in Numeral Classifier Languages” Eli Hinkel (2002) ” SECOND LANGUAGE WRITERS ‘ TEXT Linguistic and Rhetorical Features” ZOOMの講読会では文法的な説明のみならず、各自の専門的な立場からの議論が深まった。